

「けやき俳句の会」会報（第七十八回）

平成三十年四月四日

第七十八回句会記録

★日時 四月四日（水）

★場所 けやき学習室

★参加者 二十四名

（総句数七十二句）

★真樹先生投句

⑨学窓の大志けやきの芽吹きかな

①ポケットに硬貨数枚花は葉に

蝌蚪の陳学窓のぞく昼下り

★真樹先生選句（◎は特選）

◎⑥研究棟ボンベの陰の犬ふぐり

◎④校内の静寂は花の屑の中

◎③花卉のものあはれを肩に受け

◎②風光るキャンバス自転車新しき

◎③寂寞の残花工学部に鴉

◎③抜け道に水仙一花我を待ち

◎②未来ある若人芽吹き風に立つ

◎②甲羅干す亀らの背にも花散りて

◎②父母の恩牟寿迎うる春の幸

◎②百千鳥生きろ生きろと枝先に

◎②菜種梅雨卒寿の次の白寿まで

◎②亡き人へ便りを託す春の風

①弁当の今日の主役は春筍

①パフォーマー水草生ふ池の端

⑧ひとひらを亀の背にのせ花筏

⑤薬や新書入荷を横に見て

④継ぎし田の田作りの鋏に春ひかる 而今

④花は葉にキャンパスライフ君のもの藍愛

④億万の落花一片わが頬に 一華

④噂や高きを目差せと校内板 一華

③パラボラの宇宙へ春の息吹かな 一華

③草摘みてだまって交換わらべかな 史烙

②枝揺らす羽音いつしか花吹雪 樹音

②花吹雪駐輪場に猫すわる 遥風

②草青むグラウンドに声満ち満ちて 秋雲

②こでまりを折り返し点に遠出かな 金子

★会員互選句

香魚

紀泉

香魚

真弓

【次回】

★日時・五月二日（水）

★場所・けやき学習室

★提出句・兼題「背」を含み三句

真弓

高志

香魚

而今

要

紀泉

東洋

冬水

冬水

冬水

隼人

秋雲